

疥癬症のタヌキについて

近年、市内で毛の抜けたタヌキの目撃情報が多数寄せられています。毛の抜けたタヌキは「ヒゼンダニ」というダニによって起こる皮膚病（疥癬症）に感染しており、免疫力が落ちています。自然界において、疥癬症に感染しているタヌキは多く見られます。疥癬症に感染したタヌキは、数週間ほどで衰弱死する可能性が高いのですが、身近なエサを求め、住宅地等を徘徊します。特に、ペットのえさ等が放置されていると、タヌキが寄り付きやすくなりますので、速やかに片付けるなどして環境を整えましょう。

【疥癬タヌキを見つけたときは・・・】

- ・近づかない。触らない。
- ・かわいそうだと思いエサを与えない。
- ・エサになるもの（残飯、収穫しない果樹、ペットのエサの放置など）を除去する。
- ・自宅敷地内に侵入した場合などは、ホースやバケツなどで水をかけて追払う。
※追払いをすることで野生動物に「住宅地はエサ場ではないこと・安全・安心な場所ではないこと」を認識させます。
- ・強い臭いが苦手です。塩素系漂白剤や木酢などを薄めて、散布する、スポンジなどに含ませて置いておく。※塩素系漂白剤は脱色作用や金属腐食性があるため、場所の選定に注意する。
- ・しばらく様子を見る。見守る。（夜間になると寝床に戻ることがあります。）

【私たちにできること】

- ・人と野生動物の適正な関わりを心掛けましょう
(餌やりをしない、ペットとは異なり自活可能な動物であることへの理解)
- ・飼い犬や飼い猫の放し飼いをやめ、他の動物からの感染症予防に努めましょう。
※タヌキに感染しているヒゼンダニは人に感染する可能性は極めて低いですが、犬に感染する可能性があります。一方、飼い猫が野外でタヌキから感染する可能性は少ないようですが、タヌキに限らず、他の野生動物との接触により他の病気に感染する恐れがあるため屋内飼育をお勧めします。



個人敷地内のヤブの中に潜む疥癬タヌキ



住宅街の道路を徘徊し動けなくなった疥癬タヌキ

大分市 林業水産課 鳥獣総合対策担当班

097-585-6021 (直通)